

二、入賞者
審査の結果、表3のとおり十五編を入賞とした。

三、審査

(一) 審査基準

- 研究対象、実践意図の適切性
- 研究計画・内容の適切性
- 資料及び解釈の適切性
- 研究成果の有効性
- 実践過程評価改善
- 論旨の一貫性、まとめの適切性

(二) 審査

各教育事務所及び義務教育課にお

◀大沢審査委員
▼長谷川審査委員長



表3 入賞者一覽

(1) 特選

氏名	所属校・職名	教科等	研究主題
鈴木 信正	白河市立白河第一小・教諭	国語	国語力を高めるための書くことの指導はどうあればよいか
星 栄子	郡山市立大島小・教諭	国語	国語科において文章表現力を伸ばすための指導をどうしたか
松崎 和子	郡山市立大成小・教諭	理科	直接経験をたいせつにする理科指導
木村 則雄	福島市立蓬萊小・教諭	保体	児童の学習意欲を高め、運動することの楽しさを学びとらせる指導の実践

いて予備審査を行い、十一月九日、次の審査委員によって本審査を行った。(敬称略)

審査委員長
郡山女子大学短期大学部教授
長谷川 寿郎

審査委員
学校法人電気学園福島高等学校校長
栗原 喜藏

福島大学教育学部教授
蜂谷 剛

(2) 入選

氏名	所属校・職名	教科等	研究主題
加藤 隆	二本松市立二本松南小・教諭	国語	読解学習において児童の語い力を高めるためには何をどのように指導すればよいか
桑名 孝雄	郡山市立安積中・教諭	数学	数学科における学力の定着を求めて
大室 幹男	福島市立渡利中・教諭	理科	理科の作業学習は学習の個別化をはかれるか
グループ	田島町立田島小	理科	まとめの中から次時の問題を見つけ学習意欲を次時へ継続させるための学習過程のくふう
大内 宏典	川俣町立福沢小・教諭	保体	児童一人一人の体力を向上させるための効果的な水泳指導はどのようにすればよいか
佐々木信夫	猪苗代町立猪苗代中・教諭	英語	英語科における生徒一人一人の学力を向上させる一方法
梅村 良子	いわき市立江名小・教諭	教育実践	四年三組の教育活動～新任教員のあゆみ～
渡辺 捷司	郡山市立橘小・教諭	養護教育	高度難聴児の統合教育を成功させるための指導法の研究
石山喜美子	喜多方市立喜多方養護学校・教諭	養護教育	単純性重度精神発達遅滞児Fに対する治療教育に関する実践的研究
渡部 栄	白河市立白河第二小・教諭	学級経営	教育実践を確かなものにするための「学級通信」発行
斎藤 邦雄	飯舘村立白石小・教頭	学校経営	小規模校の特性を生かした学校教育目標の具現化

福島大学教育学部教授 大沢 貞一郎

四、講評

(一) 研究のすずめ方について

- 学校現場に密着した内容が多く、着実な努力に敬意を表する。
- 研究のまとめ方も向上したが、資料はさらに精選すること。
- 今後の課題について

○ 教育の現場で研究する場合二群

法は教育的でない。
○ 統計的処理のみで成果を判断することなく、一人一人の変容を明らかにすべきだ。
○ 無理に仮説とかの用語を使わずに、やさしく論述した方がよい。
○ 言葉は吟味し、独善的な用語はさけるようにする。
○ 読みやすく、わかり易い表現にしてほしい。